

18TH WORLD LAKE CONFERENCE
YURIRIA LAKE
GUANAJUATO · MEXICO · NOVEMBER 9TH - 11TH · 2021

オンライン
(オンデマンド配信あり)

参加登録
無料

第 18 回世界湖沼会議

2021年11月9日~11日

GOVERNANCE, RESILIENCE
SUSTAINABILITY OF LAKES
FOR A BETTER SOCIETY

より良い社会に向けた湖沼のガバナンス・回復力・持続可能性

www.worldlakeconference.ugto.mx



UNIVERSIDAD DE
GUANAJUATO



CONAGUA
COMISIÓN NACIONAL DEL AGUA



We support the Sustainable Development Goals

目次

世界湖沼会議について	3
重要日程	3
開催概要	4
スケジュール （内容は変更される事があります）.....	5
プログラム	6
開会式.....	6
基調講演.....	6
分科会基調講演者.....	7
分科会（口頭／ポスター）.....	8
スペイン語セッション.....	8
ILBM（統合的湖沼流域管理）ワークショップ.....	8
湖沼管理における市民参加（特別セッション）.....	8
いばらき霞ヶ浦賞受賞式.....	9
閉会式.....	9
参加登録	9
発表募集	9
応募要項.....	10
採択結果通知.....	11
フルペーパーの提出.....	11
会議抄録集.....	11
発表について.....	11
いばらき霞ヶ浦賞	12
組織委員会	13
問い合わせ先	15

世界湖沼会議について

世界湖沼会議の歴史は、1984年に滋賀県の琵琶湖畔で開催された「世界湖沼環境会議（LECS' 84）」に遡ります。この会議は、世界の湖沼管理における科学研究の貢献と促進を目的として開催されました。以来、世界湖沼会議は湖沼流域の持続可能な管理に関する意見や経験談を交換するために様々な分野からの参加者が集まる場として認識されており、これまでにアメリカ合衆国、ハンガリー、中国、イタリア、アルゼンチン、デンマーク、ケニア、インド、インドネシア、そして日本で概ね2年に1度開催されてきました。第18回世界湖沼会議（WLC18）はメキシコのグアナフアト大学からオンラインで開催されます。ラテンアメリカでの世界湖沼会議の開催は、1997年に行われたアルゼンチンでの世界湖沼会議以来23年ぶりとなります。本会議は、知識、情報、管理上の経験やベストプラクティスを共有することで湖とその流域のガバナンス、回復力、持続可能性に貢献するための努力を続けています。WLC18は、行政、利用者、技術者、科学者、学生、市民団体など湖沼流域に関わる全ての人々が、その持続可能な利用と包括的な管理に向けた適切な行動を学び、広め、行動することを目指す国際会議です。

重要日程

発表募集締切 : **2021年9月17日** 現地時間 24時（日本時間 9月18日 14時）

発表採択結果通知 : **2021年9月24日**までに本人に通知

発表資料提出期限 : ビデオパワーポイントファイル、フルペーパー（抄録集への掲載希望者のみ）

2021年10月18日

開催概要

会議テーマ より良い社会に向けた湖沼のガバナンス・回復力・持続可能性
Governance Resilience and Sustainability of Lakes
for a Better Society

課題別テーマ

湖沼の生態系の評価、利用、持続性:

- 湖沼、湖岸線、流域の生態系の資源価値
- 規制機能、特性、回復力と持続可能性
- 人類学的、社会文化的、歴史的価値と資産
- 地球物理学的、化学的および生物生態学的特徴

懸念される問題と課題:

- 湖沼内部、湖岸とその近隣の問題
- 湖沼流域の活動から生じる問題
- 地球規模の課題

管理上のアプローチや体制:

- ガバナンス
- 社会問題
- 環境と健康
- 科学と技術
- 経済

会議日程 2021年11月9日(火)～11日(木)

会場 オンライン開催(オンデマンド配信あり)

言語 英語/スペイン語

主催 グアナファト大学
公益財団法人国際湖沼環境委員会 (ILEC)
グアナファト州政府

共催 メキシコ国家水委員会 (CONAGUA)

後援 グアナファト州水委員会
グアナファト州環境地域統括事務局
グアナファト市水処理システム機構
メキシコ水理学協会
メキシコ流域ネットワーク
NGO コラソン・デ・ラ・ティエラ

スケジュール（内容は変更される事があります）

*会議期間の現地と日本の時差は+15時間（日本が15時間早い）です。

11月9日（火）			
ルーム 1	ルーム 2	ルーム 3	展示室
開会式（グアナファト州知事、滋賀県知事、グアナファト大学学長、メキシコ国家水委員会会長、ILEC理事長、他）			
基調講演 （メキシコ国家水委員会会長 Germán Arturo Martínez Santoyo 氏）			ポスター 展示
テーマ別特別講演	テーマ別特別講演	統合的湖沼流域管理 （ILBM）ワークショップ： イントロダクション	
分科会 【水資源管理の実践】	分科会【社会問題】		
グアナファト大学オーケストラ演奏			

11月10日（水）			
ルーム 1	ルーム 2	ルーム 3	展示室
基調講演（創価大学 戸田龍樹教授）			
テーマ別特別講演	テーマ別特別講演	ILBM ワークショップ：課題と 展望	ポスター 展示
分科会【科学と技術】	【分科会】環境と健康		
特別セッション	特別セッション	スペイン語セッション	

11月11日 (木)			
ルーム 1	ルーム 2	ルーム 3	展示室
基調講演 (仮) UNEP代表者			ポスター 展示
テーマ別特別講演	テーマ別特別講演	ILBMワークショップ: 課題と展望	
分科会【ガバナンス】	分科会【経済】		
		いばらき霞ヶ浦賞授賞式	
会議総括			
グアナファト宣言 / WLC19 開催地発表 / 閉会式			

プログラム

開会式

グアナファト州知事: Diego Sinhué Rodríguez Vallejo

滋賀県知事: 三日月 大造

メキシコ国家水委員会会長: Germán Arturo Martínez Santoyo

グアナファト大学学長: Luis Felipe Guerrero Agripino

国際湖沼環境委員会 (ILEC) 理事長: 竹本 和彦

基調講演

11月9日 (火)

Germán Arturo Martínez Santoyo 氏

メキシコ国家水委員会 (CONAGUA) 会長



メキシコ国立自治大学（UNAM）で土木工学の学位を取得し、Colegio de Ingenieros Civiles de México, A.C.が認定する水工学の専門家。2021年5月まで、CONAGUAの管理局次長として北部中央盆地機構の総責任者を務め、また2019年には、バルサス流域機構の総責任者に就任。2018年、メキシコ・バレー水盆地機構の総責任者に就任。2001年から2009年までは、当時のメキシコ連邦管区の水委員会、メキシコシティのグスタボ・A・マデロ地区とトラルパン地区の水システム、都市サービスの総責任者を務めた。また、メキシコ、米国、エルサルバドル、ドミニカ共和国、ニカラグアの気象庁との水文気象システム開発のための共同プロジェクトにも参加。現在は、メキシコ国立自治大学（UNAM）工学部の教授を務める。

11月10日（水）

戸田 龍樹教授

創価大学 理工学部 学部長



東京大学（日本）で博士号を取得。現在、創価大学理工学部・理工学研究科・環境共生工学専攻の教授。主な研究テーマは、環境動態解析、環境影響評価・環境政策、環境技術・環境材料、資源維持学、地球資源システム工学、形態・構造、生物、多様性・分類、水産学全般。5冊の共著、194本の発表論文、3,966件の引用、221件の学会発表・講演、27件の学会活動での栄誉賞など、幅広い学術成果を挙げている。日本学術振興会の「草食に耐える海洋林の創出」プロジェクトにおいて、2017年7月～2020年3月に助成を受ける。また、同氏は、科学技術振興機構プロジェクト「持続可能な熱帯水産養殖に最適化された微細藻類生産のための連続運転システム（COSMOS）」の研究代表者の一人であり、2015年～2022年にマレーシアで「水の宝石」と呼ばれる微細藻類の生態系の保全に従事した。同氏は、環境技術共同研究開発センター長を経て、現在は創価大学理工学部学部長を務めている。

分科会基調講演者

湖沼・貯水池の管理や保全の分野で国際的に著名な科学者や専門家で構成される ILEC の科学委員会のメンバーが、それぞれの専門分野について発表します。主なメンバーは下記の通りです。

Sandra Azevedo（リオデジャネイロ連邦大学,ブラジル）、Salif Diop（シェイクアンタジヨップ大学,セネガル）、Colin Maxwell Finlayson（チャールズ・スタート大学,オーストラリア）、Zhengyu Hu（中国科学院水生生物研究所,中国）、Alejandro Juarez Aguilar（NGO コラソン・デ・ラ・ティ

エラ、メキシコ)、高松 正嗣 (世界銀行,USA)、Tiina Nõges (エストニア生命科学大学,エストニア)、Daniel Olago (ナイロビ大学,ケニア)、Ajit Kumar Pattnaik (南アジア国際湿地保全連合,インド)、Walter Rast (テキサス州立大学,USA)、Adelina Santos-Borja (東南アジア陸水学ネットワーク,フィリピン)、清水芳久 (京都大学,日本)、Pieter van der Zaag (IHE デルフト水教育研究所,オランダ)

分科会 (口頭/ポスター)

研究者、政府関係者、市民団体、NGO、学識経験者などが、質疑応答を含めた特定のテーマのセッションで、発表や活動成果について議論します。

スペイン語セッション

スペイン語セッションは、主にラテンアメリカ地域の参加者を対象として、湖とその流域の持続可能な管理についてスペイン語で議論し、情報を交換するための場となります。

ILBM (統合的湖沼流域管理) ワークショップ

ワークショップのプログラムは、次の3つの要素から構成されています。

- (1) ILBMのコンセプトと適用事例紹介、主要課題と解決策の検討
- (2) 地域、国家、国際レベルでのプログラム開発の状況、今日までの取組から得られた教訓と経験の共有、さらなるプログラム開発のための国際協力の状況
- (3) ILBMの研究、人材育成、利用に関する、地方、国家、国際的な政府および非政府機関の取組を促進するための国際的なネットワークの構築

会議登録者は、事前にワークショップのための資料にアクセスすることができます。また、その成果物はILBMを推進する世界的な取組の一端を担うために、最大限に活用されます。

湖沼管理における市民参加 (特別セッション)

•滋賀セッション (仮称) :

このセッションでは、滋賀県の琵琶湖の事例を取り上げ、湖沼流域管理における市民と行政の協働を紹介します。具体的には、参加型湖沼流域管理の歴史、SDGsの目標達成に向けて市民が主体となって取り組む「MLGs (マザーレイク・ゴールズ)」、環境教育、大学生が先導するボランティア活動、そして代表的なNGOのプログラムやプロジェクトなどを紹介します。

●高校生セッション（仮称）：

本会議に先駆けて、滋賀県とグアナファト・チャパラの高校生間交流を目的としたサテライトセッションを開催します。このサテライトセッションの概要と成果は、本会議で発表されます。

いばらき霞ヶ浦賞受賞式

茨城県は、開発途上国からの参加者へ、その研究を支援するため、優秀な発表者2名に「いばらき霞ヶ浦賞」を授与します。受賞式では受賞者に表彰状と賞金が贈られます。

閉会式

会議総括と閉会のメッセージ、「グアナファト宣言」の読み上げと承認、WLC19 開催地の発表と紹介などで会議を締めくくります。

参加登録

会議の視聴には事前の参加登録（無料）が必要です。

参加登録者は全てのセッションにオンライン、オンデマンドでの視聴が可能です。

参加登録締切：2021年11月7日 現地時間15時（日本時間11月8日6時）

*アブストラクトを提出した場合は、自動的に登録されます。

*発表をされない方は、参加者としてのみ登録できます。

*参加登録は、ウェブサイトまたは以下のリンクからお願い致します。

Registration

<https://form.jotform.com/212154998125864>

発表募集

世界湖沼会議は、湖沼流域管理に関連する話題を幅広く議論するためのグローバルなフォーラムとして企画されました。トピックの内容は、科学・技術・実務・社会経済・ガバナンス・文化などの幅広いテーマから発表いただけます。学術的な発表だけでなく、一般市民（市民社会）からの発表も歓迎します。このようなテーマを地球規模で考えることは、持続可能な開発目標（SDGs）を見据え、すでに世界的に重要性を増している科学-ガバナンスのインターフェースを強化するために重要です。なお、採用された発表内容は、会議終了後に発行される電子版抄録集に掲載されます。

応募要項

公式サイトの“Call for Abstracts”ボタンか“Abstract Submission”タブから必要事項を入力してご応募ください。

【注意事項】

- * **アブストラクトを提出すると、自動的に参加者として登録されます。**
- * アブストラクトにはタイトル、著者および共著者の名前と所属を明記の上、250文字以内で提出してください。
- * 参加者1名につき3件までアブストラクトを提出できます。

会議の主なテーマは、研究と進歩、応用科学と経営学、経営の実践と経験などです。これらはすべて、最近開催された世界湖沼会議のテーマ別分類をもとに構成されています。

● **水資源の管理の実践**

統合的湖沼流域管理（ILBM）、市民活動と環境教育、湖畔の歴史と文化、湖沼流域のハードウェア、淡水資源の持続可能な利用、生態系サービスの持続可能な利用のための対策と技術、生物多様性と生物資源、科学的知見に基づくモニタリング、制度的管理システムと政策など、湖沼とその流域のガバナンスと持続可能性を実現するためのテーマ

● **科学と技術**

流体力学と汚染物質の移動・反応の数値シミュレーション、排水処理、残留性有機汚染物質への対応技術、環境工学技術／地表・地下水問題への対応技術、水源地汚染問題

● **ガバナンス**

政治・政策、法律・規制、財源・管理など

● **社会問題**

文化的側面、文学、宗教、市民参加、教育の可能性、人権、歴史など

● **環境と健康**

天然資源と生物多様性の側面、人間と自然の生活の質、ユリリア湖、気候変動の影響、持続可能な生態系サービス

● **経済**

水質汚染や過剰取水による経済的影響、湖沼関連の生態系サービスの喪失による経済的影響、持続可能な資金調達の課題と活動、生態系サービスへの対価

採択結果通知

応募書類は、受付後、組織委員会で審査し、結果は応募者にメールでお知らせします。発表者は、プログラムの構成上、当初の申請とは異なるテーマカテゴリーや異なる形式（口頭⇔ポスター）での発表を要請される場合があります。

フルペーパーの提出

抄録集への掲載を希望される方のみ、フルペーパーを作成してご提出ください。**フルペーパーは指定されたレイアウトフォーマットに沿って作成してください。テンプレートはウェブサイトで公開します。**

フルペーパー提出期限：**2021年10月18日**

また、組織委員会が選ぶ優秀な発表は、国際的科学ジャーナル誌（“Lakes & Reservoirs: Science, Policy and Management for Sustainable Use”, John Wiley & Sons 社発行）に掲載するため、フルペーパーの提出を求められる可能性があります。

会議抄録集

電子ブック形式の会議録には、すべてのアブストラクトと採択されたフルペーパーが含まれ、ウェブサイトにて公開されます。

発表について

発表にあたり録画済みのビデオを事前に準備し、提出する必要があります。（ビデオは口頭発表とポスター発表の両方で必要です。）

ビデオの公式言語は英語ですが、スペイン語の特別セッションに参加する場合は、スペイン語での提出も可能です。

ビデオ提出期限：**2021年10月18日**

口頭発表

口頭発表の場合、発表時間は20分とします。**ビデオプレゼンテーションは最長15分**とし、その後5分間の質疑応答が可能です。

発表時間帯の指定は、すべてのアブストラクトの採択通知が送られた後、参加者にメールで通知されます。

ポスター発表

採択されたポスター発表は、会議期間中、バーチャルポスター展示室で閲覧することができます。

形式は指定の様式（下記参照、横向き1ページ）で作成しPDFファイルで提出してください。

録画ビデオの長さ：最長5分

- ポスターやビデオの作成には、会議ウェブサイトで提供しているパワーポイントのテンプレートをダウンロードして使用することを推奨します。

Templates

<http://www.worldlakeconference.ugto.mx/en/index.php/template>

- ビデオプレゼンテーションを録画する方法は下記のリンク先ページを参考に作成してください。

Recording

<https://support.microsoft.com/en-us/office/record-a-slide-show-with-narration-and-slide-timings-0b9502c6-5f6c-40ae-b1e7-e47d8741161c>

- (オプション) パワーポイントのメディアにクローズドキャプションや字幕を追加してください。

Closed Captions

<https://support.microsoft.com/en-us/office/microsoft-stream-automatically-creates-closed-captions-for-videos-8d6ac353-9ff2-4e2b-bca1-329499455308?ui=en-US&rs=en-US&ad=US>

- 発表資料提出時にはファイル名を以下のように指定してください。**

➤ <口頭発表> 自身のペーパーナンバー.ラストネーム.oral.mp4
(例：1234.Biwa.oral.mp4)

➤ <ポスター発表> ビデオファイル名：自身のペーパーナンバー.ラストネーム.poster.mp4
(例：1234.Biwa.poster.mp4)

ポスターファイル名：自身のポスターナンバー.ラストネーム.poster.pdf
(例：1234.Biwa.poster.pdf)

- 発表資料の提出先については、後日発表者にメールでリンクをご案内いたします。
- 一度提出されたビデオの変更は受け付けません。ビデオが制限時間を超えた場合は、トリミングされますので、提出する前にビデオをご確認ください。

いばらき霞ヶ浦賞

第 11 回いばらき霞ヶ浦賞は茨城県の支援により、WLC18 参加者の研究支援を目的として、開発途上国の優秀な発表者 2 名に授与されます。受賞者には、表彰状と賞金 25 万円が授与されるほか、WLC18 で国際的な聴衆を前に投稿論文の発表を行う機会が与えられます。

応募者は、**2021 年 9 月 17 日**までに、関連するテーマに関するアブストラクト論文（300～500 字）を提出してください。アブストラクトの提出にあたっては、申込書

<http://www.worldlakeconference.ugto.mx/en/images/Ibaraki-Kasumigaura-Prize->

[APPLICATION-FORM.doc](#) をダウンロードして必要事項を記入し、以下のメールアドレスまで提出してください。 : wlc18@ilec.or.jp

応募条件

- 応募者は、下記の DAC List of ODA Recipients に記載されている国籍の方に限ります。
(<http://www.worldlakeconference.ugto.mx/en/images/2-DAC-list-of-ODA-recipients.pdf>)
- 受賞者は、WLC18 への参加を必須とし、指定された分科会で発表していただくことが条件となります。

一次審査

霞ヶ浦賞応募の一次審査の結果は、**2021年9月24日**までに会議ウェブサイトにて発表します。応募されたアブストラクトをもとに、5本程度の論文が最終選考にかけられます。

最終審査

一次選考通過者は、**2021年10月1日**までにフルペーパーを提出してください。最終選考の結果は、**2021年10月15日**までに発表します。

注意事項

- 応募フォームは英語でご記入ください。
- 霞ヶ浦賞の応募は、WLC18 分科会の応募とは別に、必ず上記のアドレスに提出してください。また参加登録は、賞の応募とは別になります。ウェブサイト (<http://www.worldlakeconference.ugto.mx/en/>) に掲載されている会議登録の申込方法に従ってください。

組織委員会

第 18 回世界湖沼会議組織委員会は、グアナフアト大学および国際湖沼環境委員会 (ILEC) の科学委員と現地組織委員によって以下のように構成されています。



科学委員

A. グアナファト大学

Chair Person:

Sergio Antonio Silva Muñoz

Members:

Gilberto Carreño Aguilera

Pabel Antonio Cervantes Avilés

German Cuevas Rodríguez

Arodi Bernal Martínez

José Antonio Arciniega Nevárez

José de Jesús Mora Rodríguez

Luz Adriana Arias Hernández

Josefina Ortiz Medel

José Luis Nava Montes de Oca

Xitlali Virginia Delgado Galván

Locksley Fabian Castañeda Ulloa

B. 国際湖沼環境委員会 (ILEC)

Chair Person:

Walter Rast (USA)

Members:

Alejandro Juarez Aguilar (Mexico)

Sandra Azevedo (Brazil)

Salif Diop (Senegal)

Colin Maxwell Finlayson (Australia)

Zhengyu Hu (China)

Tiina Nõges (Estonia)

Daniel Olago (Kenya)

Ajit Kumar Pattnaik (India)

Adelina Santos-Borja (Philippines)
Yoshihisa Shimizu (Japan)
Masatsugu Takamatsu (Japan)
Pieter van der Zaag (The Netherlands)

現地組織委員

Elías Ledesma
Roberto Delgado
Daniela Pereda
Erick Manuel Sánchez Robles
Karla Marcela Rivera Nieto
Rosa María Navarrete Landín
Carmen Aragón Jauregui
José Francisco Márquez González
Virginie Sophie Pautrat
Betzabee Romero Moya

問い合わせ先

University of Guanajuato (グアナフアト大学)
Lascuraín de Retana #5 Colonia Centro CP 36000
Guanajuato, México
TEL: +52-47373-20006 ext 2757
EMAIL: support.wlc@ugto.mx
<http://www.worldlakeconference.ugto.mx>

公益財団法人 国際湖沼環境委員会 (ILEC)
〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091 番地
TEL: 077-568-4567 (代)
EMAIL: infoilec@ilec.or.jp
<https://www.ilec.or.jp/>